

まちの話題

TOPICS

2/6 立志式

立志式がパレア若狭で行われました。立志式は、福井藩士であった橋本佐内が数え年15歳で人生の目標を「啓発録」として著したことにちなみ、町内の中学2年生を対象に毎年行なっているものです。

今年度対象となった128名の生徒たちは「私の啓発録」として「5つの誓い」をたて、式では代表して3人が発表しました。発表した今井健清さん(三方中)は「苦手なことに挑戦し克服していけるようにします」と、また、大同航平さん(上中中)は「何事もめんどくさがらず、計画的に取り組めます」と力強く誓いました。



2/11 若狭町少年剣道大会

第14回若狭町少年剣道大会が三方体育館で開催され、町内剣道スポーツ少年団に在籍する小学生68名が参加し、白熱した試合を繰り広げました。

結果	団体戦	男子の部	優 勝	剣誠館A
			準優勝	きらやま
			第3位	気山・向笠
		女子の部	優 勝	向笠A
			準優勝	剣誠館
			第3位	明倫A・きらやまB
個人戦	男子の部	優 勝	6年生	筧 翔太郎
			4・5年生	今井 涼介
			3年生以下	熊谷 薩馬
	女子の部	優 勝	6年生	中西 光咲
			4・5年生	江戸 唯愛
			3年生以下	奥村 美夕

2/11 冬の農村体験フェス

冬の農村行事を楽しんでもらおうと、かみなか農楽舎とインターンシップ生や卒業生などゆかりのある方でつくる「わかさの魅力発見・発信応援隊」が2年前から開催しています。

みそ作りやこんにゃく作りの体験や、農楽舎で育てたほうれん草やかぶなどの野菜を収穫して生春巻きを作って味わったり、シカの角のキーホルダー作りも行われました。また上中中学校2年生の上中悠路さんら5名は、総合学習の一環として餅つき体験を企画し、子どもたちと一緒に楽しみました。「みんな笑顔になって楽しかった!」と初めての餅つき体験を企画した5名は興奮した様子で話してくれました。



2/13 母と子の歯育教室

野木公民館では毎月「のぎママカフェ」を開いています。むし歯が多いという声を聞いて、野木地区母子保健推進員らが企画し、管理栄養士・保健師の協力のもと、上野木の楓歯科医院の畦平先生と歯科衛生士さんを招いて歯育教室を開催しました。

町内より9組の親子が参加して、わが子の歯の悩みなど個別の相談をしました。参加した保護者は「生後9か月になりますが、歯みがきはまだ先でいいと思っていました。歯肉炎になっていると聞いてびっくりしました。今日の指導を守り、親子でがんばっていきたいです。」と話していました。



2/14 味覚授業開催

気山小学校で食材や味覚について学ぶ体験授業が開かれました。食や特産品等への関心を深めてもらおうと、町と小学校が連携し、毎年実施しています。7年目になる今年は5校で行われました。

この日、地元の旅館の料理長である岡勝之さんにより、同校の3・4年生を対象に「だし」について学びました。かつお・こんぶなどの素材の異

なった味の違いを実際に味わって比べたり、だしを入れない味噌汁を飲んでみたり、最後は親子丼を作って食べたりしました。児童らは「だしは色んな味があり不思議だった。」「楽しかった。家でも作ってみたい。」と口々に感想を述べていました。岡料理長は「毎年行っていますが、子ども達の反応が良く、こちらも楽しんでいきます。」と笑顔で話していました。



2/15 三方五湖日本農業遺産に認定

三方五湖地域が、県内初となる日本農業遺産に認定されました。400年以上にわたり「たたき網漁」などの伝統漁法を継承し、水産資源保全に努めた点が評価されました。

今後は三方五湖地域のブランド力が向上し、農林水産業のさらなる発展と、観光面での活用なども期待されます。

三方五湖世界農業遺産推進協議会では、これからも、地域の皆さま、県や美浜町、漁業協同組合、観光協会など、多くの方々と共に美しい三方五湖を次世代につなぎ、多くの人々が訪れ交流する誇り高い三方五湖を発信していきます。



2/17 赤十字救急法講習会

日本赤十字社若狭町分区の主催で、若狭町シルバー交流プラザ（中央）において3日間開催されました。今年度は、町内の保育士、養護教諭や日赤奉仕団員など62名が参加して心肺蘇生をはじめとする一時救命処置の基本や、思わぬ災害や事故でケガをした人、急病になった人の応急手当の方法を学びました。

日本赤十字社救急法指導員の松本弘康さん（小川）は「若狭町は町をあげて日赤に協力して新規講習や復習講習を開いています。保育士さんや一般の方もまじめに熱心に受講されていて、ありがたいです。」と話していました。



2/17 熊川宿まちづくり総集会



熊川区民や熊川宿に関わる方が一堂に会し「熊川宿まちづくり総集会」が開かれました。はじめに小林庄一区長から「昨年春以降『街道シェアオフィス&スペース菱屋』、『熊川宿若狭美術館』、うなぎの食事処や焼鯖店などがオープンし、また河内川ダムも今年6月に竣工の予定と聞いている。ますます熊川が活性化するように頑張っていきたい」と挨拶がありました。熊川宿若狭美術館や菱屋の今後の取り組みについての報告や、古民家の利活用を進める新法人「熊川プロジェクト（仮称）」設立の説明、立命館大学の学生に



による熊川宿の観光についての研究発表、提案などがあり、その後の懇親会では、熊川宿のまちづくりや活性化について多くの意見が交わされました。

2/19 保育園児と祖父母の交流会

みさき漁村体験施設「みささち」（神子）において、地元園児とお年寄りの交流会が開催されました。西浦地域づくり協議会が5年前より餅つきなどをして交流を続けています。この日は梅の里保育園と岬保育所の園児約40名と、近くのデイサービスに通うお年寄りや、地元住民ら約30名が参加しました。「みささち」の指定管理者である金井学園から福井工大の学生約30名も加わり交流しました。まず、園児たちの太鼓の演奏や、お遊戯の披露があり、お年寄りたちは身体を動かしたりして楽しんでいました。続いて同大学の科学実験では、子どもたちがビーズを使ってオリジナルプレスレットを作り、紫外線で色が変わるビーズの不思議を体験したり、空気の形を見る実験をして楽しいひとときを過ごしました。



2/21 町・明治国際医療大学・株式会社オーイング 包括協定締結

明治国際医療大学（京都府南丹市）と株式会社オーイング（本社高浜町）と町が、健康づくり・防災など幅広い分野で連携協力に関する包括協定を締結し、同大学が「みかた温泉さららの湯」（指定管理者 株式会社オーイング）内に「さららの湯若狭鍼灸院」を開設しました。

同大学によると、温泉に入った後にハリやお灸をすることにより、相乗効果が期待できるそうです。その他、健康づくりの公開講座や、応急処置研修なども行う予定です。

また、株式会社オーイングは同大学に以前より奨学金制度を作っており、卒業生を同社への就業につなげ、定住促進も図っていききたいとのことです。



2/21 第28回若狭ライオンズクラブ・平成30年度若狭町スポーツ協会 スポーツ賞合同表彰式

パレア若狭において、今年度優秀な成績を収めた個人と団体、合計84名の表彰が行われました。

表彰式では、インターハイや福井国体などボート競技で優勝した荻野紗和さん(美方高校3年)が、日頃の感謝と今後のより一層の精進を誓い謝辞を述べました。



宝くじの助成金で整備しました

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの売上金を財源として実施している『コミュニティ助成事業』を活用して、新道区がコミュニティセンターの整備を行いました。

このように、宝くじの売上金は、公共施設の整備や備品購入などに活用されています。



問い合わせ 総合戦略課 ☎0770-45-9112

2019年6月2日(日)
野木小学校グラウンド

食/祭/海/道 若狭路

大会に関するお問合せ先
わかさあじさいマラソン大会事務局
〒919-1592
福井県三方上中郡若狭町市場 20-18

TEL.0770 (62) 2731

大会要項 (申込書) のご請求/お申し込みに関するお問合せ先
わかさあじさいマラソンエントリーセンター
〒975-1317
兵庫県川西市浄土町3923-2 アスリートビル 南ジョッパー内

TEL.0794 (70) 8200

お申込み
締め切り 4/19(金)

走れ若狭路 ひろがれ未来!

第15回 わかさ あじさい マラソン

ハーフ / 10km / 5km / 3km / 2km

WAKASA AJISAI MARATHON 15TH

主催 若狭町 若狭町教育委員会 若狭町スポーツ協会 主管 若狭町陸上競技協会
後援 福井県教育委員会 (公財)福井県スポーツ協会 (一財)福井陸上競技協会 福井県高等学校体育連盟 福井県中学校体育連盟 福井新聞社 FBC福井放送 福井テレビ
協力 小浜警察署 若狭消防署 若狭町交通指導員協議会 上中化学(株) 福井県無線赤十字奉仕団若狭分団 自転車救急隊REM 若狭町スポーツ推進委員会
若狭町各地区体育協会 瓜生地区地域づくり協議会 野木小学校 わかさ元気づくりネットワーク 若狭町ジュニアリーダーズクラブ
協賛 ミズノ(株) 大塚製薬(株) JA若狭 JA敦賀美方

大南 博美

Guest Runner: TERUKUNI DORIMAWA

1975年11月15日生まれ。福井県出身。
東海銀行 (LFI銀行) ネットヨク車体〜福井陸協。
現在はユニティック所属。
02年釜山アジア大会マラソン銅メダル。06年ドーハアジア大会
10000m 銅メダル。07年ロッテルダムマラソン優勝。
双子の妹・敬美と共に日本を代表する長距離・マラソンランナー。

5000m: 15分20秒75 (2004年日本選手権 第4位)
10000m: 31分35秒18 (2005年日本選手権 第3位)
ハーフマラソン: 1時間08分45秒
(2004年札幌マラソン 優勝 日本歴代6位)
マラソン: 2時間23分26秒
(2004年ベルリンマラソン 第2位日本歴代10位)

